

【選択講習④】

平成 29 年 8 月 3 日 (木)

学校組織の「社会的責任」のあり方と実践方策

(幼・小・中・高・特教員対象：定員 60名)

時間	内容	講師
9:20～ 9:30 (10分)	ガイダンス	たけい こうすけ 武井 孝介
9:30～10:50 (80分)	「ISO26000」の発行と学校組織における「社会的責任」	武井 孝介
	<p>組織の「社会的責任(SR)」という概念は、企業を中心にその重要性が広く認識されており、すでに多くの企業で様々な実践的取り組みがなされている。その一方で、学校など企業以外の事業組織では、「社会的責任」に関する議論や関心はまだ十分と言えないのが実情である。本授業では、昨今の企業や組織の「社会的責任」をめぐる一連の動きについて整理・分析した上で、2010年11月に国際標準化機構が発行した「ISO26000(組織の社会的責任に関する国際規格)」の内容を検討しながら、学校組織における「社会的責任」の考え方とその具体的な方向性を考えていく。</p>	
休憩 (10分)		
11:00～12:30 (90分)	学校運動部活動における学校と地域の新しい連携	すがや みさと 菅谷 美沙都
	<p>生徒数減少に伴う部活動の廃部・休部、指導者不足、勝利至上主義に偏向した運営等、近年、学校運動部活動において解決すべき多くの諸問題が指摘されている。学校運動部活動をめぐる議論は、我が国における地域スポーツ振興政策の中心的戦略として位置づけられた「総合型地域スポーツクラブ」の育成に相俟って、学校外(地域社会)との関係構築へと傾斜しつつある。部活動という学校教育の場において、地域住民の協力を引き出し、学校と地域双方が豊かになるためにはどうしたらよいのだろうか。本授業では、部活動の教育的意義を概観した後、学校と地域が連携して活動を展開している事例を取り上げ、学校と地域社会の繋がりや地域スポーツ振興における学校の役割等を検討する。</p>	
昼休み (50分)		
13:20～14:50 (90分)	地域連携活動による教育効果	まえはし あきら 前橋 明朗
	<p>地域における教育実践は、学生(翻って教員)にどのような変化をもたらすか、について考察する。本学/学生がこれまで長期にわたり取り組んできた2つの地域活動を事例とし、(1)活動前の学生はどのような様子であったのか、(2)地域活動参加への現実的なきっかけは何であったのか、(3)地域においてどのような教育を受けたのか、(4)地域の現状をいかに把握しどのような課題を抽出したのか、そして(5)その課題を解決するためにどのような方策を立て実行に移したのか、といった項目について整理・検討する。</p> <p><ケース・スタディ></p> <p>その1：那須烏山市におけるチャレンジ・ショップ経営</p> <p>その2：鹿沼市におけるチャレンジ・ショップ経営</p>	

休憩 (10分)		
15:00～15:50 (50分)	地域と学校の連携：課題と展望	前橋 明朗
	<p>地域と学校の連携活動に寄せられた外部からの客観的評価を基に、参加学生にみられた変化（資質の引き出しや種々能力の向上など）を具体的に示す。最後に、学生／生徒に地域教育を施す際に必要な条件を提示した後、地域と学校の連携に基づく教育の在り方について展望を開く。</p>	
15:50～16:40 (50分)	テスト	武井 孝介
16:40～16:50 (10分)	アンケート	武井 孝介